

すえつぐ精一
後援会会報

まっすぐ通信

第5号
令和6年1月1日発行

ごあいさつ

前衆議院議員 末次精一



皆様には平素よりご支援を賜り心より御礼申し上げます。また、10月に行われました衆議院長崎4区の補欠選挙では、多くのご支援をいただきながら私の力不足により結果を出せなかったことに心からお詫び申し上げます。

選挙後も「何で国会議員を辞めたのか?」「出なければいけないのか?」というご質問やご心配の声を多くいただきました。確かに、県議会議員を辞職しその後9年間かかりやっとなれた国会議員ではありませんでした。その間、ご期待をいただきずっと

支援をいただいた皆様のお気持ちを思うと、今でも本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

しかし、この度の補欠選挙は、野党第1党として立憲民主党が候補者を出さなければいけない責任があったこととであり、何よりも私が出なければ無投票の選挙になりかねなかったことがあります。これは、有権者の投票の機会を私が無くすことにつながり、日頃より「政治の信頼を取り戻し、投票率を上げていく」を政治信念の一つとして訴えている私が皆様に嘘を言っていることとなります。それ故に、私として責任を果たし信念を貫くためにも、この補欠選挙は避けて通れなかったことをご理解いただければ幸いです。

さて、今回の補欠選挙では「長崎から政治を変える」をスローガンに掲げました。その思いは、行き過ぎた長崎県の利権政治を改めていくことにあります。権力が集中するとやがて腐敗していくことは人類の歴史でも証明されているとおりであり、腐敗した権力は私利私欲に走り、政治本来の役目である「国民の暮らしを良くすること」から逸脱していきます。

それが利権政治の実態であります。長崎県民の所得が低いことも、人口減少が著しいことも、県北に活気がなくなっていくこともすべて利権政治が原因です。だからこそ、一部の人たちが潤うような政治は早急に改めなければいけないのです。

残念ながらその思いは十分に有権者に届きませんでした。選挙後に折しも政治とお金の問題が噴出して

ます。自民党の政治資金パーティーでキックバックが行われ、それが収支報告書に記載されずに裏金として処理されている問題は、まさに利権政治の実態そのものです。裏金が一体何に使われたのか、国民は全ての収入に税金がかかります。そもそも、パーティー券を買った企業との癒着はなかったのか。検察はうやむやにせず真相を解明しなければならぬと思います。そして、今こそ日本の政治そのものを国民の手に取り戻さなければいけません。

政界が大混乱しているので、今後、いつ解散総選挙があるのか予想がつきませんが、大きな山場は、2024年度予算が成立した後の4月ではないかと思っています。次の選挙は、私は新しい選挙区となる長崎3区(佐世保市、平戸市、松浦市、佐々町、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、新上五島町、五島市)から立候補を予定しています。

これからも「長崎から政治を変える」を信念として、皆さまの暮らしのための政治が行われるように取り組んで参ります。支援者の皆様には本当にご苦労とご心配をおかけしますが、何卒、今後もご指導・ご支援をお願い申し上げます。2024年冒頭のごあいさつといたします。



すえつぐ精一プロフィール

1962年佐世保市大宮町生まれ。

●学歴

藤原幼稚園、福石小学校、八幡小学校、清水中学校、青雲高等学校
京都大学工学部、長崎大学大学院経済学研究科経営学修士(MBA)コース



●職歴

旧・川崎製鉄(現JFEスチール)
NPO法人ハッピーワーク(就労継続支援B型事業所)理事長



●政治歴

衆議院議員小沢一郎秘書
長崎県議会議員(2期) / 議会運営委員長を務める
衆議院議員(1期) / 経済産業委員会、国土交通委員会に所属



●スポーツ歴

サッカー(旧・川崎製鉄 社会人サッカー部に所属)、新極真空手(長崎県大会に出場)

人口減少とこれからの地域社会

2023年12月22日に国立社会保障・人口問題研究所は、2050年までの地域別将来推計人口を公表しました。2050年の人口は、2020年と比べ東京都を除く全都道府県で減少し、長崎県など11県では3割超減少になると予想されています。地方の高齢化も深刻で、25道県で65歳以上の人口が4割増えます。

長崎県内人口は約34%減の約87万人になるとの見通しで、佐世保市では3割ほど落ち込み、特に離島や半島部での減少が深刻で、新上五島町などの離島では約半数まで減り、平戸市では半分以下になると推計されました。

人口減少は、増税などと違ってはつきりと私たちが分かるものではありませんが、地域が抱える最も深刻な問題です。実際に、働き手の不足はあらゆる業界で深刻であり、廃業に追い込まれる事業者も増えつつあります。公共サービスの低下も日に日に進んでいくでしょう。しかし、それに対して国は十分な対策ができていません。

では、なぜこんなに深刻になるまで政治は手を打たなかったのでしょうか。実はその理由こそが、まさに日本の政治の問題点なのです。

これまで長く続いている自民党政権は、少子化対策などの若者向けの政策を先送りして、(投票率が高い)高齢者向けの耳あたりの良い政策を進めてきました。国民の暮らしを守っていくことよりも、選挙で勝って政

権を維持することを優先してきたからです。その結果、次世代のための政策ではなく、既得権益のための政策が推し進められてきました。

今になって岸田内閣が「異次元の少子化対策」として3兆円の予算をつけることを打ち出しましたが、対GDP比の少子化対策としてはOECD加盟国の中でずっと平均値になる程度で、とても世界の中で少子化対策が進んでいる国とは言えません。

また、そもそも日本は、人口減少問題にも適切に対応できていません。人口減少によって税収は下がり社会保障負担は増えるため、経済はどんどん縮小するということを認識した対策が日本ではこれまで行われていないことから明らかです。

これからの少子化対策は、二つ目は経済の流れは変わらないということの前提に立ち、人口減少社会への対応を考えること、二つ目は出生数のアップなど、次世代のために何をやるかの本立てで行うべきです。

特に二つ目は、まさに国の制度を大きく変えるものとなるため、既得権益でがんじがらめになった自民党政権にはとてもできるものではありません。だからこそ野党は明確に方針を打ち出し、政権交代を行い、政治改革を進めていかなければなりません。

そして、選挙の時にだけ耳あたりの良いことを言う候補者を選ぶのではなく、その候補者がどんな政治をやってくれるのか、やってくれそうかという視点で政治家を選んでいくことも、実は人口減少対策においては重要なのです。

県内の大学生と地域課題に取り組みました

地域の空き家問題は、いまや安心・安全な暮らし(住宅防災)や地域の価値にも直結する、国の喫緊の課題です。2023年12月には、「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律」が公布され、固定資産税減額解除の対象となる空き家が「管理不全空き家」にまで拡大されることになりました(末次精一は、国土交通委員として、本改正に携わりました)。

今後ますます、地方公共団体は主体的に地域の空き家対策に取り組まなければなりません。ところが、有効な解決策がなく、どこも地域も試行錯誤の中にあり、長崎県も例外ではありません。

そこで、若い人の柔軟な発想と問題意識を高める目的で、地元の大学生たちと空き家問題についてのワークショップを行いました。空き家調査や基本講義を行った上で、17名の大学生が4班に分かれて意見交換を行い、最



後は各班が空き家の活用案を発表しました。専門家や行政の担当者には到底思いつかないようなアイデアも多く出て、丸2日間にわたり、非常に活発で有意義な場となりました。今後は、大学生より、地元行政にプレゼンテーションを行っていく予定です。ご期待下さい。

空き家の相談窓口を開設しました

地元の空き家に関するお悩みに応えていきたいという思いから、この度、俵町の事務所に「空き家の相談窓口」を併設いたしました。空き家の所有者の方、ご近所の空き家にお困りの方など、お気軽にお問い合わせ下さい。電話・0956-123-7171

※不在の際はお掛け直しいたしますのでメッセージを残して下さい。
住所・佐世保市俵町6-21
※市外の方もお気軽にお立ち寄り下さい。



後援会よりごあいさつ

平素より末次精二にご指導ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、先日行われました衆議院議員補欠選挙の際には、絶大なるご支援を賜りまして誠にありがとうございました。結果を受けまして、次回の選挙に向けて私も末次精二と共に更なる精進をして参る次第でございます。政治への不信感が募っております昨今、利権を好まないクリーンな政治、

透明な政治を目指す末次精二に、これからも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願致します。時節柄、体調を崩しませんよう御身おだいじ下さい。



末次精二 後援会 幹事長 馬場紀人

NPO法人ハッピーワークのご紹介



末次精二が理事長を務める、NPO法人ハッピーワーク(就労継続支援B型事業所)のご紹介です。当事業所は、「仲良く、楽しく」をモットーに、創業11年目を迎えました。利用者さん一人一人の個性と人間関係を大切にしています。

現在、利用者さんを募集しています。障がいや体調にあわせながら、就労を通じて利用者の皆さまのハッピーな暮らしをサポートできればと思っています。お気軽にご相談下さい。電話・0956-7617016
住所・佐世保市城山町6-18

連絡先

【佐世保事務所】
〒857-0016
長崎県佐世保市俵町6-21
電話 0956-37-3535
FAX 0956-24-4811

